

年度 / AY	2026
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> 博士後期課程
専攻 / Major	<u>真宗学</u> 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッションポリシーをふまえ、以下の3点を確認する意図で出題した。①真宗学に関する基礎知識と文献読解力を有しているか。 ②真宗学のテキストをふまえた考察力を有しているか。 ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門Ⅰ 問題一は「次の文を読んで、親鸞の不行観について述べよ。」という設問で、『教行信証』「行巻」の冒頭の文を掲げた（『宗祖親鸞聖人著作集一』聖教編纂室編、東本願寺出版刊による。なお漢文には返り点のみを示した）。親鸞は称名念仏に関わって名号を本願のよびかけとして確かめている。この両者の関係を基本的了解をふまえて論述する必要がある。</p> <p>専門Ⅰ 問題二は「次の文を読んで、親鸞の救済観について述べよ。」という設問で、『歎異抄』第二条の文を掲げた（『真宗聖典第二版』聖教編纂室編、東本願寺出版刊による）。親鸞における「よきひとのおおせ」との値遇について、それに至る親鸞の求道がどのようなものであったか、その基本的了解をふまえて論述する必要がある。</p> <p>専門Ⅱ 「次に掲げる文を、(イ) まず書き下し文に改め、(ロ) 次にその意味内容について詳しく述べよ」という設問で、『教行信証』「証巻」の冒頭から設問文を示した。（『宗祖親鸞聖人著作集一』聖教編纂室編、東本願寺出版刊による。なお漢文には返り点の</p>	

みを示した)。念仏の救いについて、どのような存在の上に、何によって開かれるのか、また正定聚について、基本的内容をふまえたうえで論述する必要がある。

〈採点のポイント〉

真宗学を専攻するにあたって、『教行信証』・『歎異抄』の基本テキストの本文によって、基本的な知識をふまえて、内容を理解し、それを適切に表現することができるか。

年度 / AY	2024
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>修士課程において仏教学研究に取り組むために必要な基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I には問題 1 と問題 2 を設けている。ともに基本的な仏教用語の意味説明を求めるものである。専門 II は仏典（現代語訳）を示した上で、その内容を要約するとともに、そこに出てくる仏教用語の意味を問うものである。</p> <p>いずれの問題も、仏教の基本的思想を正しく理解できているかどうか、自身の研究に結びつけて論理的に説明できているかどうかを採点のポイントとしている。</p>	

年度 / AY	2023
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、修士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>出題内容は以下の通りである。専門Ⅰの問題1において、「純粹経験」「アルケー」といった簡単な語句群のなかから2つを選んで説明することを求めた。問題2では、Thomas Nagel の <i>What does it all mean?</i> からの英語文について部分和訳を求めた（辞書参照可能）。専門Ⅱの問題では、黒田亘の『行為と規範』からの日本語文について、指示した下線部に至る論旨をまとめること、下線部について自身の考えを述べることを求めた。</p> <p>採点のポイントは以下の通りである。①哲学に関する基礎的事項を適切に説明できているか。②哲学に関する基礎的文章を正確に読解できているか。③自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2026
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(共通) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>歴史・文学それぞれの専門分野と仏教をはじめとする宗教との関係を理解できているかを問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>日本の歴史・文学、中国の歴史・文学、西洋の歴史の中から各自の専門分野と、仏教をはじめとする宗教との関係について説明させる。専門分野の知識が修得できており、それと宗教の関係が説明できているかが問われる。</p>	

年度 / AY	2023
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(日本文化日本史関係) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>出題意図は、各時代ともに、概ね次の通りである。各時代の基本史料を現代語訳する力、史料中の用語の意味を理解する力、史料内容を理解し、要約する力、史料の時代状況についての知識の他、各時代の基礎的な歴史用語についての知識の有無を確認すること。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>日本史（近代）では、福沢諭吉「貧富論」『時事新報』（明治24年5月20日）の抄録を史料として出題した。問一では、出題史料の全体を読み取り、決められた文字数で内容を要約するよう出題した。明治年間の比較的読みやすい文章内容を的確に理解し、かつ文字数内に要領よく要約できる力が求められる。問二では、史料中の一文について、文中の指示語が具体的に何を指すかを答えさせる問題と、この一文を現代語訳する問題である。史料中の文章を、正しく読解する力が求められる問題である。問三は、近代仏教史に関する歴史用語5つから2つを選択して、説明する問題である。人物名や雑誌名等、いずれも基本的用語である。問四では、日本近代仏教史研究について、考えを述べる問題である。研究状況についての知識とそうした状況に対する自分なりの考えを持つことを求めたい。</p>	

年度 / AY	2024
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(日本文化日本文学関係) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
【入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー AP)】 教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解) (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
【出題の意図】 日本近現代文学の基礎知識と論説文の読解力および思考力を問う。 併せて論説文に対応しうる文章表現力を有しているかを確認する。 【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】 折口信夫「『細雪』の女」（『人間』第4巻第1号、1949年1月）からの出題。自然主義の問題を追究する文章だが、シェイクスピアの導入が日本近代文学にどのような影響をもたらしたかを検討する部分もある。内容の正確な把握とともに、これらのトピックに対する受験者自身の考えも問われている。谷崎潤一郎、折口信夫等、主要な文学者に関する基礎的知識も出題される。	

年度 / AY	2026
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(中国文化関係中国文) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>漢文文献の読解能力を問う。</p> <p>中国の歴史・文学・思想などの基礎的な知識を問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>『元史』巻二〇二・釈老伝からの出題。世祖クビライの時代の仏教政策に関する部分を読み、書き下し文や現代語訳を作成させる。さらに文章に関連する事項として、モンゴル時代の仏教についての知識を記述させる。国家の仏教に対する政策、チベット仏教の影響、道教との関係などについての理解が問われる。</p>	

年度 / AY	2026
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(西洋文化西洋史) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー AP)】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>歴史学に関する基礎知識や、歴史学という学問の性質への理解度を問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>嵩満也・吉永進一・碧海寿広編『日本仏教と西洋世界』の序文から出題。19世紀以降の仏教と西洋世界との出会い、さらには西洋世界と日本仏教との出会いに関する簡単な文章を読解し、異なる宗教間の出会いや衝突についての考えを叙述する。これまで修得してきた知識に基づいて、具体的な事例をあげつつ、自分の考えを述べているかが問われる。</p>	

年度 / AY	2019
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 <u>国際文化</u> 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) <u>一般(春季)</u> 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門(共通問題)</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①文化研究に必要な基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門Ⅰは、異文化理解や多文化共生に関わる三つのテーマ（①観光と国際交流、②スポーツと国際交流、③宗教と異文化理解）から選択して具体例をあげながら論ずることを求める自由記述問題であり、文化事象について筋道だった思考を行う考察力と、その思考内容を論理的な文章にまとめる表現力を評価する。</p>	

年度 / AY	2019
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(英語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①文化研究に必要な基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 II は、英語で書かれた文章の全体または一部を和訳する問題が中心であり、英語文献を読むための基礎的な読解力と内容理解力をはかるものである。読解すべき文章だけでなく問題文もすべて英文であるが、解答については日本語による解答を求める問いと英語による解答を求める問いが用意されており、作文力よりも主に読解力をはかるための設問となっている。</p>	

年度 / AY	-
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(ドイツ語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①文化研究に必要な基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I は共通問題に移行されたのでそちらを参照のこと。</p> <p>専門 II は、ドイツ語で書かれた文章の全体または一部を和訳する問題が中心であり、ドイツ語文献を読むための基礎的な読解力と内容理解力をはかるものである。和訳のほか、代名詞の指示語やキーワードの説明、文章の内容を踏まえた短い論述など、読解に基づく内容理解ができているかを確認する設問がある。</p>	

年度 / AY	-
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(フランス語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①文化研究に必要な基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I は共通問題に移行されたのでそちらを参照のこと。</p> <p>専門 II は、フランス語で書かれた文章の全体または一部を和訳する問題が中心であり、フランス語文献を読むための基礎的な読解力と内容理解力をはかるものである。和訳のほか、代名詞の指示語やキーワードの説明、文章の内容を踏まえた短い論述など、読解に基づく内容理解ができているかを確かめる設問がある。</p>	

年度 / AY	2023
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(中国語文献) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①文化研究に必要な基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>専門 I は共通問題に移行されたのでそちらを参照のこと。</p> <p>専門 II は、中国語で書かれた文章の全体または一部を和訳する問題が中心であり、中国語文献を読むための基礎的な読解力と内容理解力をはかるものである。和訳のほか、文章の一部やキーワードの説明、文章の内容を踏まえた短い論述など、読解に基づく内容理解ができていないかを確認する設問がある。</p>	

年度 / AY	2019
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、教育学・心理学に関して基礎的な知識と理解を有しているかを評価する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>〈出題内容〉</p> <p>専門Ⅰ 次の問題1～2の中から一つ選び、論述しなさい。</p> <p>問題1 小学校でのボランティア活動を通じて、大学生にどのような変容がもたらされるか。多様な視点で論じなさい。</p> <p>問題2 言語活動と評価の関係について論じなさい。</p> <p>専門Ⅱ 次の文章(鶴田清司「第7章 授業をどうデザインするか」田中耕治他『新しい時代の教育方法』からの文章)を読んで、後の問題に答えなさい。</p> <p>問題1 本文を200字程度で要約しなさい。</p> <p>問題2 筆者の考え方に対するあなたの考察を述べなさい。</p> <p>〈採点のポイント〉</p> <p>教育学・心理学に関わる事項を適切に説明できているか。</p> <p>教育学・心理学に関わる文章を正確に読解できているか。</p> <p>自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	